

備前焼 土窯プロジェクト シンポジウム
テキサス・クリスチャン大学協同プロジェクト 報告会

「記憶とアート」 in アメリカ

2016年3月19日(土)

10:00~16:05

岡山県立美術館 2Fホール

入場 / 無料

講演 / 報告者

唐澤昌宏氏

(東京国立近代美術館工芸課長)

伊藤晃氏

(中近世備前焼研究会会長)

平川忠氏

(備前焼作家)

赤井夕希子氏

(土窯プロジェクト委員会)

村野正景氏

(京都府立京都文化博物館学芸員)

笹岡敬氏

(現代美術家 / 大阪産業大学教授)

< 発表順 >

Tsuchigama Project

温故知新

— 土窯<備前焼中世古窯復元>—

古備前といわれる中世の備前焼には妖艶な美しさがあった。その美しさを求めて平川忠氏の過去を率直に見つめて理解する取り組みは始まった（1989年～）。それは同時に「古いもので終わらせたくない」と未来に向けての挑戦であった。過去への探求をはじめ、現代と過去の大きな違いに気づき、古窯や技法を復元することになる。2003年、平川工房1号土窯が完成して13年。研究者らも加わり研究は加速した。そして、過去の情報は現代に甦り、そのノウハウは当初の想像を超え、私たちに計り知れない可能性を与えてくれている。

— シンポジウム —

2012年、土窯に魅せられた米国テキサス・クリスチャン大学（TCU）芸術学部のクリス・パウエル准教授より、大学からの正式招待として平川氏に備前焼中世古窯をアーカンソー州に復元して欲しいとのオファーをうけた。それに伴い土窯プロジェクト委員会を設立し、プロジェクトチームは2015年の5月～8月の3ヶ月という短期間（通常は1年かかる）で土窯の築窯、作品制作、焼成、シンポジウム、展示を行った。今回のシンポジウムではこれら一連の活動・成果報告を行う。また、備前焼、現代の工芸、アート&アーキオロジー（過去の再発見と現代的活用）の講演。最後には「現代美術と工芸—もののあり方—」をテーマにトークセッションを行う。

— 内容 — 3月19日（土）10:00～16:05（受付9:30～）

- 10:00～10:10 開会のあいさつ 杉浦俊太郎氏（備前市教育委員会 教育長）
10:10～10:55 「現代陶芸としての薪窯による備前焼」(仮称)
唐澤昌宏氏（東京国立近代美術館 工芸課長 /美術史）
10:55～11:40 「備前焼の概要と流通」
伊藤 晃氏（中近世備前焼研究会 会長 /考古学）
- <休憩（11:40～13:00）>
13:00～13:45 「土窯プロジェクト アメリカでの活動報告・成果報告」
平川 忠氏（土窯プロジェクト委員会 委員長 /備前焼）
赤井夕希子氏（土窯プロジェクト委員会 /備前焼）
13:45～14:35 「新大陸の土器の歴史と特徴：過去の再発見と現代的活用のために」(仮称)
村野正景氏（京都府立京都文化博物館 学芸員 /考古学）
- <休憩（14:35～14:45）>
14:45～15:55 トークセッション「現代美術と工芸—もののあり方—」
出演：笹岡 敬氏（大阪産業大学建築・環境デザイン学科教授 /現代美術）
平川 忠氏・赤井夕希子氏
15:55～16:05 閉会のあいさつ 松畑熙一氏（中国学園大学・中国短期大学 学長）



平川工房1号土窯

主催 = 備前焼中世古窯復元「土窯」プロジェクト委員会
後援 = 岡山県、備前市、備前市教育委員会、岡山県備前焼陶友会
助成 = 公益財団法人 福武教育文化振興財団

○申し込み・問合せ

備前焼中世古窯「土窯」プロジェクト委員会事務局

〒705-0014

E-mail aka.yuki.1129@gmail.com

岡山県備前市新庄788-1（平川忠工房内）

Website <http://tsuchigama.wix.com/kiln>

TEL/FAX (0869) 66-7022

Facebook <https://facebook.com/tsuchigama/>

